

前回、『結晶性知能』について紹介いたしました。
今回も、読者の反響から、『非認知能力を伸ばす』—エビデンスで人材育成—について紹介します。

今回、科学的根拠（エビデンス）で子育て—教育経済学の最前線—から「非認知能力を伸ばす」
—エビデンスで人材育成—について紹介いたします。

①-1『やり抜く力を伸ばす』

『やり抜く力を伸ばす』（下図）

教育経済学の最前線

□やり抜く力を伸ばす

①

目標設定することが重要なこと

②

目標達成には努力が大切なこと

③

失敗や挫折を建設的に考えること

④

人間の能力は生まれつきではなく、努力によって変えられること

【成長マインドセット】努力することで自分の能力を向上させることができると信じること

昨今、人材育成において、非認知能力を伸ばすことが大切 と言われています。

では、非認知能力である、やり抜く力、主体性、自己肯定感、自制心等はどのように伸ばしていけば良いのでしょうか。

科学的根拠（エビデンス）で子育て－教育経済学の最前線－で、著者の慶應義塾大学 総合政策学部 中室牧子教授は、非認知能力である「やり抜く力を伸ばす」方法について解説しています。

（図1）著者作図

引用：科学的根拠（エビデンス）で子育て－教育経済学の最前線－中室牧子[著]
ダイヤモンド社

①-2『やり抜く力を伸ばす』

「やり抜く力を伸ばす」には

- ① 目標設定することが重要なこと
- ② 目標達成には努力が大切なこと
- ③ 失敗や挫折を建設的に考えるにこと
- ④ 人間の能力は、生まれつきではなく、努力によって変えられること

そして、「成長マインドセット」すること

成長マインドセットとは、「努力することで自分の能力を向上させることができると信じること」です。
中牧教授は述べられています。

このことは、メジャーリーグで活躍する大谷翔平投手にもあてはまるのではないのでしょうか。

また、「成長マインドセット」を浸透させることは、我々ビジネスパーソンにとっても、自身を含めて、
エビデンスベースで人材を育成する上で大いに示唆に富む方法と考えます。

②-1『向社交性』

「向社交性：他者への思いやり」（下図）

教育経済学の最前線

□向社交性：「他者への思いやり」

向社交性や利他性の高い人は、健康で、幸福感が高く、収入も高いというエビデンスがある

好奇心の伸ばし方
「既存の概念に疑問を抱かせる」

非認知能力を伸ばす
クリティカルシンキング（批判的思考力）

前著の中室牧子教授は、「向社交性」についても述べられています。
「向社交性」とは、他者への思いやりのことです。
向社交性や利他性の高い人は、「健康で、幸福感が高く、収入も高い」というエビデンスがあるとのこと。

このことは、既寄稿『サステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）』プロティアンキャリア*で触れた「ビジネス資本×社会関係資本＝経済資本」にも通じ、我々ビジネスパーソンにも響くエビデンスではないでしょうか。

そして、さらに中室教授は、エビデンスで人材育成する方法として、好奇心の伸ばし方として「既存の概念に疑問を抱かせること」
非認知能力を伸ばし方について「クリティカルシンキング（批判的思考力）」の大切さを述べられています。

（図2） 著者作図
引用：科学的根拠（エビデンス）で子育て－教育経済学の最前線－中室牧子〔著〕ダイヤモンド社

②-2『向社交性』

このことは、前から決まっているから等の前例主義や常識を今一度考え続ける姿勢、
当たり前と思われていることを「そもそも、なぜ」と疑ってみる姿勢、が大切なことがよくわかります。

我々ビジネスパーソンにとっても、ロジカルシンキングとともにクリティカルシンキングが非常に大切であることがわかります。
また、クリティカルに悩むことが大切であることも示唆しています。

「墮落論」で有名な無頼派小説家の坂口安吾の言葉として、「**失敗せざる魂、苦悩せざる魂、そして、より良きものを求め
ざる魂に、真実の魅力はすくない**」（デカダン文学論）があります。

まさに、我々ビジネスパーソンにも、失敗し悩みながら得られる成果が、より素晴らしいものになることが示唆されます。
さらにビジネスパーソン、一人ひとりの人生においても大いに勇気づけられる言葉ではないでしょうか。

そして、「クリティカルシンキングで非認知能力を伸ばすこと」によって、自身と組織において
人材を育成することで、強みを伸ばしながら自分らしいキャリアを歩めます。

VUCA時代のエクセレントビジネスパーソンは、「クリティカルシンキングで非認知能力を伸ばす」ことで、いつまでも変化できる
自分自身をマネジメントし、エキサイティングに、「ありたい姿」である未来の価値を創造し、自分らしい「ウェルビーイング」に近
づける可能性が高まります。

*既寄稿『サステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）』（2023.03.01）プロティアンキャリア参照

医薬品・医療機器企業はこれから、「クリティカルシンキングで非認知能力を伸ばす」ことで、人材育成し、自社を「トランスフォーメーション」し、持続可能（SDGs）な国民皆保険を含めた社会保険制度維持に貢献していくべきと考えます。

2026年1月

文責：日本ジェネリック製薬協会 広報委員会コミュニケーション広報戦略部会

(参考情報)

- 『結晶性知能』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/251223.html>
- 『オーセンティックリーダーシップ』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250901.html>
- 『価値創造思考（イノベーション思考）まとめ』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250801.html>
- 『価値創造思考（イノベーション思考）パート3』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250701.html>
- 『価値創造思考（イノベーション思考）パート2』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250606.html>
- 『価値創造思考（イノベーション思考）』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250501.html>
- 『イノベーション・プラットフォーム』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250401.html>
- 『働きがい』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250303.html>
- 『心理的安全性』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250203.html>
- 『社会的インパクト』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/250106.html>
- 『マネジメント現在・過去・未来（パート3）』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/241202.html>
- 『マネジメント現在・過去・未来（パート2）』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/241101.html>
- 『マネジメント現在・過去・未来』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/241001.html>
- 『金融リテラシー』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240902.html>
- 『マーケティング・イノベーション』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240801.html>
- 『人材バランスシート』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240701.html>
- 『キャリアオーナーシップ』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240601.html>
- 『レジリエンス』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240501.html>
- 『非認知能力』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240401.html>
- 『フィナンシャル・ウェルビーイング』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240304.html>
- 『イノベーションと無形資産』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240201.html>
- 『非財務情報可視化』：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/240109.html>
- 『2023年ノーベル経済学賞、ノーベル生理学・医学賞』について：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/231201.html>
- 『三位一体の労働市場改革』について：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/231002.html>
- 『女性活躍推進』について：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230901.html>
- 『次世代育成支援対策』について：日本ジェネリック製薬協会JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230801.html>
- 『AI戦略』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230703.html>
- 『PBR革命』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230601.html>
- 『日本版ジョブ型』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230501.html>
- 『Society 5.0』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230403.html>
- 『ウェルビーイング・マーケティング』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230301.html>
- 『サステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230201.html>
- 『インパクト加重会計』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/230105.html>
- 『KPI経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/221201.html>
- 『価値創造経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/221101.html>
- 『ムーンショット経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/221003.html>
- 『人的資本経営（パート3）』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220901.html>
- 『人的資本経営（パート2）』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220801.html>
- 『人的資本経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220701.html>
- 『ウェルビーイング経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220601.html>
- 『VUCA時代経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220510.html>
- 『パーパス経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220325.html>
- 『ESG経営』について：日本ジェネリック製薬協会 JGA
<https://www.jga.gr.jp/jgapedia/ge/220120.html>